

空と私と

二酸化炭素

(CO₂)

2010年・AUG

登場人物

塩津 みちる

転校生・金野 暁

鉄砲水 百合

舞

萌

花子

寺尾 絵子先生

グリーンカーテンズ

苦み走ったニガウリくん

甘い香りのジャスマミンちゃん

夜に花咲くアサガオちゃん

1 温室効果ガス

「受験まであと〇ヶ月」とかありがちな掲示物にまじって、「電気はこまめに消す」「冷房の設定温度を下げる」といった張り紙がやけに目立つ教室。さらには、「気温上昇は+2℃以内」とか、相当ハードルの高い学級目標が掲げられていたりする。奥には、大きな園芸用のネット、いわゆる「緑のカーテン」が垂れ下がっており、グリーンカーテンズが身を寄せ合うように眠っている。傍らには、コップで鉢植えに水をやる少女、花子。反対側には、体操着を着たみちるが床に寝転がって空を見上げている。この日、5月にしては妙に暑かった。

みちる あーあ、空はこんなに青いのに……。

みちるの言葉に続けるように、グリーンカーテンズ、立ち上がり、踊り出す。

ニガウリ 空はこんなに青いのに

ジャスマミン いつもと変わらず青いのに

アサガオ C!

ジャスマミン 知らないうちに増えている

ニガウリ O!

ジャスマミン 温室効果ガス。

アサガオ ツー!

ニガウリ 積もり積もって行き着く先は……

アサガオ そんなの、私の口から言えな……

ニガウリ もう間に合わないかも知れない。

ジャスマミン もう間に合わないかも(リフレインしながら横になる)。

三人が再び眠りにつくと、日傘をさし、「MOP1」と書いたモップを持った百合が現れる。かなり不安定。そこへ、モップとバケツを手にした舞と、モップを二本抱えた萌が駆け込んでくる。

百合 なかなか、うまく進みませんことね……

舞 百合さんはそんなことしないでいいんですって! 私たちがやりますから。(百合の手からモップを奪い、二刀流で床を拭き始める)

萌 あー、百合さんの分は私がやるうと思ってたのに!

舞 残念でした!。ほら、花子も!

花子 今日のコスモスの種を蒔いたの。花言葉は、「乙女の真心」。

萌 お花なんて後にして、あんたも掃除しなさいって!

花子 (モップを受け取る) う、うん……

萌 百合さんはお休みになって下さい。あ、窓際は西陽がきついから近づかない方がいいですよ!。

舞 なんとって、紫外線はお肌の大敵なんすから。
百合 舞さん萌さん、いつもいつも私の事を気遣ってくださってありがとうございます。

百合、舞にすすめられるままに移動しかけて、寝ているみちるの腰のあたりを蹴り上げる。

みちる いたっ！

百合 あら、みちるさん、私としたことが、ごめんなさい。「灯台もと暗し」ですわね、こんなところでお休みになつていゝるなんて気がつかなくて。

みちる わざとじゃないの…？

舞 塩津！てめまたそんなところでサボつて…！

みちる サボつてなんかない！私ほちゃん到着替えて時間通り来た！

萌 大体さ、たかが掃除だけのために何で体育着？ばっかじゃないの。

百合 みちるさん、女性たる者、常に優雅であるべきなの。おわかりかしら？それにしてこの辺、何だか蒸すわね、二酸化炭素が濃いのかしら？

舞 てめえが暑苦しいんだよ、塩津！

萌 こんなところにいると、無駄に汗かかいますから、百合さんはどうぞあちらへ。

百合 ごめんあそばせ。

花子 あの…。

萌 何よ？

花子 早くしないと、先生、来ちゃう。

舞 それもそうね。ほら塩津、お前も働けよな！（雑巾をなげつける。顔面直撃するもをかし）

みちる 言われなくたってやるわよ、つて何で私だけ雑巾？

萌 仕方ないでしょ。モップは四本きやないんだから。

みちる 嘘。モップは5本まであるはずよ。大体、舞は二本持つてるじゃない。

舞 これが私ので、こっちは百合さんの。お前の使うモップはねえ。

百合 みちるさん、いいことを教えてさしあげるわ。世の中には二通りの人間が存在するの。額に汗して地べたに這いつくばつて生きる人間と、それを高みから見下ろす人間。

萌 百合さんのおっしゃる通り！

舞 お前なんか雑巾で十分なんだよ、この温室効果ガス！

みちる 誰が温室効果ガスだつて…！

百合 まあ、お似合いじゃございませんこと。

花子 あの、それじゃ塩津さんが…。

舞 何だよ、何か文句あんのか、花子！

萌 花子は黙つて自分の持ち場をモップがけしてればいいの。

みちる …わかつたわよ。やればいいんですよ！
萌 最初から素直にそうしなさいよ。

百合 肉体労働者は肉体労働者らしく、しっかりと働くことね。
みちる うおりゃー！

気合いを入れ、猛然と雑巾がけを始めるみちる。

みちる もう駄目…。

みちるが疲れ果ててぶつ倒れるちょうどその頃、寺尾絵子先生が登場。「MOP 5」というラベルのついたモップを持っている。

絵子 大事な大事なモップ5ちゃんをトイレにほつたらかしたのは誰かしら？

舞 絵子せんせい、塩津さんがサボつてまーす。

萌 床に寝っ転がつて遊んでまーす。

絵子 まあ、それは本当？

みちる サボつてたら、こんなに息が切れるか！

百合 私、何度も注意したのですけど、聞いて下さらなくて、ほんと困りましたわ。

みちる 日傘さしてのほほんと立つてる方が、よっぽど働いてないでしょ！

百合 まあ、ひどい。

萌 そんなことないです。百合さんはちゃんとやりましたー。

舞 私も見ましたー。花子も見ましたよな？

花子 …。

萌 私たちが言つても、塩津さんちつとも聞かないので、先生からばしつと注意してください。

絵子 いいこと、塩津さん、こういうことは、みんな協力し合うことが大切なの。

一人ぐらいはやらなくても大丈夫、そういう考え方には、先生賛成できない。

みちる とりあえず、水一杯飲んでいいですか…？

絵子 何なのその態度は？

百合 先生、塩津さんを責めないであげてください。事の重大さがよくわかつてないだけなんです。

絵子 こういうことはあまりしたくないけど、あなたには、ペナルティとして、植物の水やりを命じます。花子さん、教えてあげて。

花子 あ、はい…。

一から十五までの番号がふられたコップを持ってくる花子。

花子 はい、これで一杯ずつ水をくんできてあげるの。

みちる は、何それ？バケツかホースじゃダメですかあ？

絵子 節水です！コップで一杯一杯丹念に、一のベルリンから、十五のコペンハーゲンまで。

みちる ベルリンとかコペンハーゲンとか意味わかんないんですけど。

絵子 地球環境のためです。このコップ十五までの歴史の重みと地球の痛みをよくかみしめて働きなさい。いいわね？

みちる はあい。(コップ1を持って水汲みに歩きます)

絵子 さあ、みなさん、それでは今日もいつものように、二酸化炭素の排出を抑えるため、みんなで一分間息をガマンしましょう！

みんな、一応呼吸を止めている(つもり)。

みちる (コップを運びながら) ごめん先生、私、今、ムリ……。

絵子 自分から投げてはだめ。一人のちよつとした油断が積み重なって、大きな温室効果ガスの排出につながるのよ。

舞 せんせー、塩津さんは、さつきからせええ息して、暑苦しいです。

萌 塩津さんは、人より多く酸素を吸って、二酸化炭素を多く出しているの、地球に優しくないとはいまーす。

みちる 何ですって!?
このあたりから、見知らぬ少年・暁が現れて隅っこでそのやりとりを見守っている。

絵子 地球温暖化は、人類全体が共通にその責めを負うべき問題なの。決して一部の人の努力だけで解決はできない。あなたたちは、あの冬の京都で、何を見、何を学んできたの!?

花子 金閣寺。

萌 舞妓はん。

みちる 八つ橋。

舞 まくら投げ。

百合 ところで、京都行ったのって、冬でしたっけ？

絵子 誰が修学旅行の思い出話をしろと言ったの！京都と言ったらこれ！(みちるが持っていた3番のコップを取り、高々と掲げる) コップ3、温暖化防止京都会議に決まってるでしょう。この時はじめて、先進国の温室効果ガス排出量の削減に、具体的な数値目標が定められた。2012年までの日本のノルマは、1990年比で6%！この取り決めこそが、世に言う「京都議定書」！紆余曲折を経て、2005年に発効！しかしまだ甘い！あん入り生八つ橋のように甘いどすえ。それだけでは温暖化を食い止めるに十分な削減量と言えないのは、火を見るよりも明らか！

百合 先生、あまり興奮するとお体に障りますわよ。

絵子 あら、私としたことが、つい……(ハンカチで汗を拭く)。

舞 (☆きらりん)先生も、ホントは暑いんじゃないの？

絵子 大丈夫です。我がクラスには、丹精込めて育てた自慢の「緑のカーテン」が

あります。ご覧なさい。(指さす) あの「緑のカーテン」が直射日光を遮り、暑さを和らげてくれます。

可能であればここでサーモグラフィ風に色がつく照明を一瞬。

グリーンカーテンズ (その瞬間だけ立ち上がってぴーす) いえーい。

絵子 どう、その効果は一目瞭然でしょ。

萌 そう堅いことおっしゃらずに、クーラーつけようよ。ね、ちよつとだけいいからさ。

百合 一生懸命働いたせいとか、柄にもなく汗をかいてしまいましたわ。

舞 (みちるに一瞥をくれつつ) 温室効果ガスのせいで暑いんじゃないの？

絵子 そう言うと思ってるね、先生も考えた。はい、どうぞ。(クーラーと書いたうちわを差し出す)

百合 先生、私だって、これが「うちわ」という物だということぐらい知っていますよ。

絵子 今日からうちのクラスでは、クーラーと言ったらこれのことにします。

百合 それは詭弁というものですわ。噂に聞いたことがありますけど、焼いたハムを「ステーキ」と呼んだり、ししゃものことを「尾頭付き」と称したりする情けない家庭があるとか……。

みちる うちでは、春雨のことを「フカヒレ」と呼んでまーす。

百合 そう！先生が言っているのはそれに類するまやかしではありませんこと？

険悪な空気が流れるので、見かねた暁がうちわを絵子の手から抜き取り、百合の顔のあたりをおおぐ。揺れる百合の長い髪。

百合 あー、いい風……。

暁 ね、このクーラーも捨てたもんじゃないでしょ。自分でやってみれば？(渡す)

百合 (素直に受け取る) は、はい……。

萌 あの、百合さんが、自らの手で、うちわを……。

舞 誰だ、あいつ……？

暁 すみません、先生。言われた通りに職員室で待っていたのですが、いつまでもお呼びがかからないので、勝手に教室に来てしまいました。

絵子 あら、私としたことがごめんなさい。紹介が遅れちゃったわね。みなさん、こちらは、今日から一緒に勉強する、金野くんです。仲良くしてあげてねー。さ、金野くん、ご挨拶なさい。

暁 種子島から転校してきました、金野 暁(こんの あかつき)です。よろしく。

百合 (ばたばた) あの、私、鉄砲水 百合と申します。学級委員をしておりますの。わからないことがあったら、何でもきいてくださいね。

ありがとう。

絵子 そのクーラー、気に入ったみたいね。

舞 気に入ったのはうちわじゃなくて…。

百合 転校生の方だったって…。

百合 あなたたち、何を言っているの。と、とにかく、これはお返ししますわ！（う
ちわを絵子に返しつつ）もう帰らせてもらってよろしいかしら。

絵子 そうね。では、あいさつして解散しましょう。

百合 みなさん、さようなら。

舞 地球平均気温の上昇が

2℃以内で止まりますように。

絵子 はい、さようなら。塩津さん、あなたは水やりを済ませてから帰るのよ。そ
れでは、また明日。

絵子、退場。水やりを再開するみちる。そつと花子が歩みよる。

花子 あの、ごめんね、私も…。

みちる 気にかんないって。

百合 なかなか面白いクラスだねえ…。

百合 あの、金野くんの、血液型はなに型ですか？

百合 暁でいいよ。でも、血液型なんて、何だかありきたりな質問だなあ。

百合 じゃ、暁くんは、火力発電と原子力発電、どっちが好きですか？

百合 うーん、どっちが好きかってきかれてもなあ…。

百合 およしなさい。彼、迷惑しているじゃないの。

百合 質問されるのは別に嫌じゃないけどね、他にもつとあるんじゃないの？たと
えば、「今付き合ってる人はいますか？」とか。

舞&萌 いるんですか!?

百合 実はね、故郷の種子島に残してきた彼女が…。

百合・舞・萌 （特に百合の声ひときわ大きく）えく!?

百合 なんてうそそうそ。そんな子いないし、まだこつち来たばかりだし。誰かい
い子はいないかなあ。

百合 きやどーしよ!

百合 行きますわよ。あの、よろしかったら、あ、暁くんも一緒に…。

百合 塩津、私ら帰るけど、てめちゃん最後までやれよな!

百合 （コップを運びつつ）見てわかんないの？やってみてよ!

百合 行きますよ。見てるだけでイライラする。

百合 あの子は？

百合 温室効果ガスのこと？ほつとけばいいのよ、罰当番中だから。

百合 温室効果ガス？

百合 あー、バカで暑苦しくてむかつくから、ほんと塩津ってんだけど、そう呼
んでんだ、です。

百合 へえー。

百合 どうしたの、暁くん？

百合 訝しむ百合たちを尻目に、暁、みちるに歩み寄り、そして。

みちる ……？

百合 君、温室効果ガスっていうんだ。

百合 失礼ね、何よいきなり！私にだって、塩津みちるっていうれっきとした名前
が…！

百合 （コップを持つみちるの手に自分の両手を添えて）僕も手伝うよ。

百合 は？

百合 ちよつとあれどーゆーこと!?

百合 いいって、自分でやるから！

百合 すぐムキになったりして、だから温室効果ガスなんて呼ばれちゃうんだ。

百合 それは何!?手を離さないっての！

もみ合ううちにコップの水がこぼれ。

みちる あー、どうしてくれんのよこれ!?せつかく汲んできたのに！

百合 や、これは失敬。

花子 （雑巾を持つてくる）みちるちゃん、はいこれ。

みちる あ、ありがと（床を拭き始める）。

百合 （雑巾を動かすみちるの手にまたまた自分の手を添える）二人でしかして
しまった不始末は、二人の真心で拭おう。

百合 どう考えてもあんたが一方的に悪いでしょ！

百合 そして、こぼれてしまった水はまたすくえばいい。手に手をとって、いざゆ
かん、愛の泉へ。

みちる ただの水道なんですけど…。

百合 ご覧、はにかむように赤らみ始めた西の空には、ひときわ明るく、宵の明星
が。愛と美の女神・ヴィーナスの名を冠するその星にかけて、僕は誓うよ、君
のためなら、どんな苦難にも耐えてみせると。酸素と炭素が結びつき、猛毒の
一酸化炭素が生まれるように、たとえ君と僕の愛が周囲を破壊させることになっ
ても、僕は君を離さない！

みちる だから、そーゆーのいいから、普通に水やりやらせてって…！

百合 何なの？何でこんな唐突にラブコメ調になるの!?

あつげにとられる周囲を尻目に、暁がみちるの手をいつまでも握りしめていた。

暗転

2 緑の反乱

その日は朝から強い日差しが照りつけていた。気温の上昇を物語る赤や黄色の照明の中、グリーン☆カーテンズが眠りから覚める。

ニガウリ 今日も元気だ空が青い！

ジャスミン こりや暑くなりそうだねえ。

アサガオ 午後にはざーつと一雨くるかもね。

ニガウリ 今日はまた、一段と艶やかなお目覚めだな。

アサガオ (ぼ) ありがとう。でもこの日差しのせいで、午後はきついかも。

ジャスミン 花の命は短くとも、咲ける時には美しく。それでいいのさ私たち。

アサガオ 明日は明日の花が咲く。

ニガウリ こんな天気の良い時は、たくさん日差しを浴びてでっかくならにゃ。今日

もがんばってデンプンを蓄えるで！

ジャスミン 行き着く先は、まな板かフライパンの上でもね。

ニガウリ それを言っちゃあおしまいよ。

アサガオ 誰か来たよ！

その場に固まる一同。花子がコップを持って登場。水やりを始める。

花子 おはよう、今日もいい天気だね。

アサガオ (小声で口々にささやく) おはよう。

ジャスミン おはよう。

ニガウリ おはよう。

花子 (あたりを見回す) え？今、声が聞こえたような……。

そこにみちるが立っている。

みちる よ、やってるな。

花子 みちるちゃん！今、おはようって言った？

みちる いや、言っていないけど、どうかしたか？

花子 ううん、何でもない。それより見て、今朝、アサガオが咲いたの。

みちる 嬉しそうだな。

花子 …でも、ごめんね。

みちる 何が？

花子 みちるちゃんがひどい目に遭ってても、私は何の力にもなれない……。

みちる 気にするなって。私だけならいいけどさ、花子まで目つけられたら、言い返

せないだけにめんどくさいだろ。

花子 ごめん、ほんと、ごめんね……。

みちる 空、今日も青いね。

花子 え……？

みちる 空はこんなに青いんだ。私の心だって、いつか青く済み渡る日が来るさ。
高そうな花束を手に、暁登場。

暁

空の青さは、波長の短い光の散乱。太陽の光は、青の他にも多くの色から成りたっているんだ。人の心に表と裏があるように、目には見えないが有害な紫外線だって太陽光には含まれている。人の目が見ているのはほんの一部に過ぎない。それが真実さ。だけど、君を求める僕の心には、一点の曇りもない。おはよう、みちる！

みちる 気安く名前で呼ばないで欲しいんだけど。

暁 君の心に満たされないものがあるならば、それはきつと、僕という半身が欠けているせいだ。

花子 私、なんだかお邪魔みたいね……。

みちる こいつの方がよっぽど邪魔だって。

暁 まことの愛に障害が付きものは世の常。けれど、いかなる障害も二人を隔てることなどできはしない。

花子 あの、私、仕事あるから行くね。

みちる あ、ちよつと待ってよ！

花子 花子、そそくさと退場。

みちる ほらあ！完全に誤解されちゃってるじゃない！

暁 誤解したい人には誤解させておけばいいさ。

みちる よくないって。

暁 僕にはわかる。今は灰色かもしれない君の心の空に宿る真つ赤な情熱の炎が。

みちる それこそが恋というものだ！

暁 昨日会ったばかりなのに、恋も何も無いでしょ。

みちる 出会った瞬間、運命を感じた。僕はこの人とめぐり会うために生まれてきたのだと。君のためなら、金星の気にも匹敵する天ぷら油の中に入れてこの身を投げ出してみせよう。静かに、そして確実に、二酸化炭素が大気中に蓄積し、

やがては北極南極の氷をも溶かすように、長い時間をかけて二人の愛を育んでいこうじゃないか。

みちる 勘弁してよ、もう！

暁 待ってくれ、みちる！

みちる あー、だから、ついてくんなって！

暁 たまらず逃げ出すみちる。追う暁。入れ違いに、百合と舞・萌が登場。百合、

かなりご機嫌斜め。

百合 全く、何を考えているのかしら、あの転校生…!!

百 萌 見た目はわりとイケてると思っただけどなあ…!!

百 合 美的感覚を疑ってしまえますわ。何が「愛と美の女神・ヴィーナスの名を冠するその星にかけて」よ。

舞&萌 まさか塩津がタイプだなんてね…!!

百 合 この私をさしおいて、あんな品性のカケラもない温室効果ガスがいいだなんて、どういう了見なの!? あんな奴に、一瞬でもトキめいた自分が恥ずかしいですわ…!!

舞 やっぱ…!!

萌 トキめいてたんだあ…!!

百 合 嫌ですわ、今のは嘘。鉄砲水百合ともあろう者が、初対面の殿方に心奪われるなんて、ありえせんわ。ほほほほ。

舞&萌 ですよねー。

百 合 それにしても、みちるったら、温室効果ガスの分際で、この私に恥をかかせるなんて、あー、思い出しただけでも腹が立つ!!

言いざまに、足下にあつたグリーンカーテンのプランターを思いっきり蹴飛ばす百合。衝撃音。そして、時ならぬ雷鳴と共に、ニガウリくんの腕の中に崩れ落ちるアサガオちゃん。

アサガオ きゃあああああああ!

ジャスマン アサガオ!

ニガウリ アサガオ! しつかりしろ、アサガオ!

アサガオ ごめんね、ニガウリくん。アサガオはここまでです。今まで優しくしてくれて、ありがとう…:(がく)。

ニガウリ アサガオオオオオ!! (アサガオの体を横たえ、立ち上がると、百合をにらみつける) てめえ、アサガオに何の恨みがあつてこんなひどい真似を!?

ジャスマン あんたたち人間は、とかく色鮮やかな花や緑の葉っぱをありがたがるけど、地下の根こそが私たちの生命の源だつてのに!!

ニガウリ (百合の手をつかむ) 許さん!!

百 合 な、何なのあなたたち一体!?

舞&萌 百合さん!

舞と萌、百合を救うべく駆け寄るが、百合のもう一方の腕を起き上がったアサガオがつかむ。

アサガオ 私たちの苦勞をその体で味わってみる?

ジャスマン アサガオ、お前…!!

アサガオ うん、明日になればまた新しい花が開くから、たぶん大丈夫だあ。

ニガウリ よおし、なら、合体技で一気に決めてやる。来い、アサガオ!

アサガオ らじやー!

ニガウリ&アサガオ 究極合体秘奥義・グリーン殺法・ツルの舞!!

二人の両腕から緑のツルが伸びて、怪しい螺旋を描く。それはやがて百合の体からみつき、自由を奪う。そのまま百合を垂れ下がるネットにくくりつけてゆく二人。

百 合 何よこれ!? 私を鉄砲水百合と知つての狼藉なの…!? こんなことして、ただで済むと思つているの?

二人、まるで聞かず、どんどん縛めをきつくしてゆく。

百 合 (舞と萌に向かって叫ぶ) あなたたち、早く私を助けたらどうなの!?

舞&萌 は、はい!

百合を救いにゆこうとする舞&萌の前に、ジャスマンが立ちほだかる。

ジャスマン あなたたちの相手は、このジャスマンよ。

舞&萌 …!!

ジャスマン さあ、甘い香りに包まれて、お眠りなさい。

懐から霧吹きのようなものを取り出し、舞・萌の鼻先でぶしゅつと一吹きする。

萌 ああ、いい香り…!!

ジャスマン お休みなさい。

舞 (萌を突き飛ばす) バカ、この匂いを嗅ぐな!

萌 何すんのよ!?

(ジャスマンにしがみつく) ここはいいから、お前は先生でも誰でも助けを呼んでこい!

舞 わかった…!!

舞 頼んだぞ、萌…(ばた)。

走り去る萌。それを見届けると深い眠りに落ちる舞。グリーンカーテンズ、妖しげに体をくねらせつつ、百合の周囲を舞い踊り、さらにきつく百合を縛りあげてゆく。

百 合 (ぐすん) 何で私がこんな目に…? 助けてよお…!!

ニガウリ お前が自分勝手だからだろ!

ジャスマン まあ人間てのは、えてしてわがままな生き物だけだ。

アサガオ 少しは反省しなさい。

百合 おがぎょん…!!

百合の瞳からは、ぼろぼろと涙がこぼれ落ち、まさに鉄砲水のごとし。鳴り続いていた雷鳴、さらに激しく、やがて大粒の雨を呼ぶ。そこへ、萌を伴った絵子先生が登場する。やや遅れて、みちる、続いて暁も現れる。

百合 (泣きながら) えこせんせえ…。
みちる どうなってるのこれ…?
暁 緑の、反乱…。

萌 (舞に駆け寄り抱き起こしつつ) だから言ったでしょ! 先生、何とかしてよ!
絵子 そうね、とにかく百合さんを助けなさいと…!

歩み寄る絵子の前にはそうはさせじとばかりにグリーンカーテンズが。

萌 何してるの先生? そんな奴らはさみでちよきちよき切り刻んじやってよ!
絵子 (ニガウリくんを抱きしめる) 森を育てるには長い年月がかかる。せつかく

苦勞して作ったグリーンカーテンにはさみを入れるなんて、私にはできない…!
アサガオ (Vサイン) ぶいつ!

ニガウリ よおし、ならお前も仲間に加えてやる。
ジャスミン あなたもそこで、私たちの一部になるといいわ。あなたの愛した緑のカーテンと一つになるなら、本望でしょう。

百合 そんなあ…。

今度は絵子先生を拘束し始めるグリーンカーテンズ。

みちる しっかりしてよ、先生! 百合も、いつまでもびーびー泣いてんじやない…!
絵子 塩津、さん…?

百合に近づこうとするみちるの手を暁がつかんで止める。

暁 よしなよ。
みちる 何するの!? 手を離して!

暁 僕にはわからないな。彼女は、ずっと君のことをバカにしてきたんだ。助けてやる必要なんてないんじゃないの。

みちる だからってほっとくわけじゃないでしょ!
暁 人が所詮、温暖化により緑の地球を食いつぶす存在なら、緑のベッドに埋もれて滅びてゆくのも一興かもしれないよ。

みちる それって緩やかな自殺じゃないの。自殺が正しいなんて私には思えない。だからその手を離さないっての!
暁 離さない。つないだ君と僕のこの手と手があれば、僕は他に何も要らない。

みちる つないでるつもりなんてない! あんたが一方的に握ってるだけでしょ! 百合がどんなに傲慢で嫌味でやな女だろうが、私は百合を助ける! だから行かせてよ!

暁 いやだね。君と二人なら、灼熱の金星の気だつて涼風のごとく心地よく感じるだろう。

みちる 昨日今日会ったばかりのお前に、そんなこと言われる筋合いないんだよ!
百合 : 誰がやな女ですって…?
みちる 百合…! 待ってる、今助ける!

暁 今ここで助けたって、どうせまたその恩を忘れて君をいじめるような奴だ。ほっておけばいい。
みちる そーゆー問題じゃないの。いいから手を伸ばせ、百合!
百合 私に指図するのはやめて下さらない?

暁に腕をつかまれたまま、伸ばすみちる。百合、何とか片手だけ縛めを解き、手を伸ばす。

みちる もう少し!
百合 あなたが、あと一歩前に出ればすむでしょ!

みちる だから、この転校生が…。いい加減離さないって!
暁 離すもんか!

みちる しつこい男は、好きじゃないんだよ!

暁を引きずるようにして伸ばしたみちるの手が、ついに百合の手をつかんだ。

みちる つしやあ! 今そっから出してやつからな。その手を離すなよ、手伝え、暁! 暁 え…?

力を込めて百合の手を引くみちる。その時、花子が駆け込んでくる。

花子 やめてよ! 私たちが、何か悪いことしたのなら謝るから。ニガウリくん、花言葉は「頼られる人」ジャスミンちゃん、花言葉「清浄無垢」、アサガオちゃん、花言葉「はかない恋」。私、知ってる。こんなひどいことできるはずない。お願いだから、もう、やめて…。

ニガウリ どうする?
ジャスミン どうもこうも、ねえ?

アサガオ あの子にああまで言われちゃ、しょうがないっか。

百合と絵子を縛っていたツルがほどけ、グリーンカーテンズ、緑のネットに抱かれて眠りにつく。

花子 ありがとう、みんな、ありがとう……!

舞 (眠りから覚めて) 結局、キーパーソンって花子だったのかよ。
最初っから花子呼んどけ、って話……?

眺 (つないだ三人の手を見て) 一つの炭素原子は、酸素原子二つを容易に受け取って二酸化炭素になる。まさにこのことかな。

みちる またわけわかんないたどえを……

百合 いつまでつかんでのよ? 力まかせで加減つてものを知らないんだから。痛いよ。私のこの白魚のような手をなんだと思ってるの?

みちる いつまで握ってるのよ、転校生!

眺 あれー、言わなかったつけ、離さないって。
離しなさいっての、痛いじゃないの。

みちる ムリに引つ張るからだと思えよ。

眺 四の五の言わずにとつとと離せ!

みちる 眺の腰のあたりに片足をかけ、力まかせに手を抜こうとするみちるだったが、不意に眺が力を緩めるので、反動で後ろにひっくり返る。

眺 ったーい。急に離すこたないでしょ!

みちる 離せと言ったり離すなど言ったり、わかんないなあ。

眺 私のことからかかって遊んでるでしょ!?

みちる 僕はいつも大真面目だよ。(しゅた) じゃ。

眺 うーん、僕にも分分钟の予定つてもんがあつてね。僕がこの手をほどこいても、炭素原子が酸素を受け取るように、君はまたそばにいる誰かの手をつかむだろう。

みちる レディに対して失礼な。

眺 二酸化炭素が増えて温暖化が進むのは問題だけど、熱いハートがつながるのはいいことなんじゃない? ずっと君の手を握っていたけれど、残念ながら君にとつて僕はオンリーワンじゃないってこと。ほんとと言うとね、僕は人間じゃないんだ。西の空に明けの明星が輝く頃、一つの光が宇宙へ飛んで行く……それが僕なんだよ。

みちる ちよつと、冗談でしょ、何言ってるんだかわかんない。

眺 言つたら、僕はいつも大真面目だつて。最後に一度だけ、僕の名前呼んでくれたね、「あかつき」って。ずっと「あんた」とか「転校生」だったのに。

みちる あの時は、ほら、私も必死だったから……!

眺 いつかその名を聞いて、僕のこと思い出してくれたらいいなあ。さよなら、みちる。

暗転。暗闇の中、眺の声にてカウントダウン。

眺 5、4、3、2、1、0!

エピローグ

みちるが床に座り、青空を見上げている。花子は変わらず植物の世話。やや離れたところで、萌がコップを机上でピラミッド状に積み上げて遊んでおり、隣の舞は机に脚をかけて座り、眠っているのか、新聞を顔に乗っけている。その日、2010年5月21日、金ようび。

みちる 空、青いなあ……。

花子 うーん、ジャスマミンのいい香り。みんな、おはよう。今日も元気に咲いてるね、アサガオちゃん。暑い日々が続くけど、がんばろうね。

萌 何ぶつぶつ言ってるのさ、花子?
(コップを積みながら) 今は、朝の新聞学習の時間ですつと。そう言えば、花子、よく喋るようになったよね!

舞 そっかー? あんなのあのお方に比べたら、大した変わりようじゃないって。言えてる!

眺 し、来たよ。

日よけの頭巾をかぶり、両手に軍手とすつかり農業少女と化した百合が登場。

百合 おはようございます。花子さん、今日も偉いわねー。私も手伝ってさしあげましてよ。ほら、その二人も立った立つた!

百合 でも今は新聞を読む時間じゃ……。

眺 新聞は紙でできている。紙は木から作られる。新聞と緑、どっちが大切とお思いなの?

舞 何があの人をあそこまで極端に……?

眺 何でも、すごく怖い夢を見たとか、神のお告げがあつたとか……。

百合 なあんか忘れてる気がするんだよね……。

眺 えー、でも切り抜きしないと絵子がうるさいからさ、(新聞を見る) なになに、金星探査機「あかつき」宇宙へ……?

みちる あー!

眺 うるせーぞ塩津! お前だけは相変わらず暑っ苦しいな。

眺 「あかつき」それだ!

眺 窓に駆け寄り、見上げるみちる。イメージでは、空にでっかく眺の姿が映りたんだー。

眺 西の空に、明けの明星が輝く頃、一つの光が宇宙に飛んで行く、それが僕な

んだよ。

何やってんだあいつ？

相変わらずバカだなー。今頃見たつてもうおせーよ。

眺だよ眺！ほら、転校生の…！

みちるさん、何の話をしたらつしやるのかまるでわからないわ。

ほんとに覚えてないの…？

絵子先生が入ってくる。音楽。

絵子 みなさーん、嬉しいお知らせですよー。今日は、新しい友達を紹介しまーす！

まさか、ね…。

みちる え、先生、眺、どこどこ？

絵子 あら、塩津さん、ちゃんと朝刊ちえつくしてたの。えらいわねー。でも、今

私が話しているのは、今朝届いたばかりの、じゃーん！モップ6ちゃんに、コッブ16ちゃんです！

みちる 何よそれ、私はてつきり…。

舞 いいじゃねえか、喜べよ塩津、今度こそ、雑巾から解放かもよ。

萌 ほんとは、すでに本数足りてんだけど、ま、いつか。

花子 「宇宙」と「調和」の名を持つコスモスが花開くのはまだ先だけれど、ここにその芽は確実に息吹いているのかも。

百合 花子さん、このアリ、何とかしてくださらない!!

空を見上げるみちるの目の前に、眺の姿が。

眺 二酸化炭素濃度96%表面温度460度、金星の硫酸の雲をぬって走る秒速

百メートルの大気の流れ、スーパーローテーションに翻弄されながら、僕は旅を続ける。その熱にも負けぬ君への熱い想いを胸に抱きつつ。だから祈ろう、この焦熱地獄にも等しい金星が、地球の未来の姿ではないことを。そして命の限り何度でも、僕の声を君に贈るよ！

眺の姿、消える。

みちる (空に向かって叫ぶ) がんばれよー！

舞 うるせーぞ、塩津！

花子 どうしたの、みちるちゃん？

みちる さ、やるかー！

花子の手をとるみちる。もう一方の手を握る百合。あちらでは、絵子先生の手を取る舞と萌の姿があった。それはまるで、二酸化炭素の原子モデルのようだった。

ニガウリ 空はこんなに青いのに

ジャスミン いつもと変わらず青いのに

アサガオ C!

ジャスミン 知らないうちに増えている

ニガウリ O!

ジャスミン 温室効果ガス

アサガオ ツー!

ニガウリ 積もり積もって行き着く先は…。

アサガオ そんなの、私の口から言えなーい。

ニガウリ まだ間に合うかも知れない。

ジャスミン まだ間に合うかも。(リフレインしようかな)

みちる まだ間に合うかもしれない！

全員 まだ間に合うかも！

見上げる空の青さと、嵐の予感か、次第に成長する雲の白さのコントラストの中、次第に暗転。そして、カーテンコールに続く。全員そろって礼の中、

幕